

文部科学省への追加説明依頼事項

- ◇ 第 1 回評価検討会 資料 2 p.5「評価等の反映状況」に記載の「基本的な生命の解明、医学・薬学等への貢献、食品・環境等の産業応用に向けた成果に結び付け・・・」の部分に関して、
 - a) 総花的であり、産業応用というからには 5 年の後、使えるターゲットとなっているのかを開始前からある程度計画すべきと考えるが文部科学省の見解を説明されたい。
 - b) 企業ニーズとの整合性は？ 実用化への道筋をある程度考えた進行が必要ではないかと考えるが文部科学省の見解を説明されたい。
- ◇ 基本的な生命の解明、医学・薬学等への貢献、食品・環境等の産業応用をどんな割合で進めていくのか説明されたい。
- ◇ 額の詳細について説明されたい。
- ◇ 平成 19 年度以降 5 年間の年度毎の予算の詳細に関し、以下の点について説明されたい。
 - a) 「技術開発」分野における 4 領域の資源配分（額）もしくは資源配分方針
 - b) 「研究」分野における 3 領域（出口）の資源配分（額）もしくは資源配分方針
- ◇ 技術開発に平成 19 - 21 年度は約 55 億円が投入される計画であるが、各サブプロジェクト（生産、解析、制御、情報 PF）にいくら投入される計画であるか、資料が必要である。「今後柔軟に考える」との答弁があったが、少なくとも平成 19 年度出発時については金額が明示されなければ、本評価自体が困難となる。
- ◇ 第 1 回評価検討会 資料 2 p.32「年次計画」の部分に関して、以下の点について説明されたい。
 - a) 「研究支援」とは何を指すのか？
 - b) 予算規模が毎年 74 億円とあるが中味は？ 内訳の研究と技術の割合の年次変化は逆ではないか？
- ◇ 具体的にどのようなプロジェクトの実施体制を考えているのか？（*1）
- ◇ 上記（*1）の実施体制でプロジェクトを実施する場合に予算配分は具体的にどのようにするのか？
- ◇ 研究開発体制の詳細に関し、以下の点について説明されたい。
 - a) タンパク 3000 プロジェクト同様の（中核拠点 + 研究支援拠点）体制なのか？
その際の各拠点の研究テーマ、予算、人員、主要設備（機器）
 - b) 研究プログラム総括責任者の明示と権限と責任、事務局体制

- ◇ 平成１８年度から開始された「タンパク質解析基盤技術開発」(７件)と本プロジェクトの関係はどうか？ これらの「基盤技術開発」が既成事実として本プロジェクトに強い影響を与えるのかどうか説明されたい。
- ◇ 第１回評価検討会 資料２ p.12 の表に関して、以下の点について説明されたい。
 - a)「タンパク質解析基盤技術開発」が「タンパク 3000 プロジェクト」と「ターゲットタンパク研究」の繋ぎであっても中味が重複している場合には同一のプロジェクトとすべきではないか？
 - b) 経済産業省とは密着に連携を図っていくとあるが具体策は？
 - c) 他の省庁、厚労省や農水省との関係はどうか？
- ◇ 今年度予算でスタートしたプロジェクトと新規プロジェクトのチーム構成は別なのか？ 今年度の人選の透明性は確保されたのか？
- ◇ 経済産業省プロジェクトとの比較を説明されたい(効率性も含めて)。
- ◇ タンパク 3000 プロジェクトで投資した研究拠点の主要機器の外部使用状況について説明されたい。
- ◇ ターゲットタンパクの選定検討状況の詳細について説明されたい。
- ◇ 第１回評価検討会 資料２ p.19「ターゲットとなるタンパク質の選定の考え方」の部分に関して、ターゲットとなるタンパク質群はいくつぐらい選ぶのか？
- ◇ 第１回評価検討会 資料２ p.2「必要性」に記載の「特に米国などの国家プロジェクトとの国際競争を優位に進めるためには・・・」の部分に関して、以下の点について説明されたい。
 - a) 特許など十分にとれる体制にあるのか？
 - b) これだけの大型予算をかけるプロジェクトの中の基礎研究部門は一国で全てを開発するよりも外国と分担して進める方が効率的なのではないのか？
- ◇ 第１回評価検討会 資料２ p.3「必要性」に記載の「公募によりオールジャパンの研究能力を結集させることで・・・」の部分に関して、日本が強いところに特化すべきではないかと考えるが文部科学省の見解を説明されたい。
- ◇ 複合体のままとり出す技術開発に関して、もう少し詳しく具体的に説明されたい。これが一番の鍵と考える。
- ◇ 無細胞発現系については遠藤教授の系が確立しているが、その活用を明記すべきではないか？ 開発の具体性が欲しい。
- ◇ 第１回評価検討会 資料２ p.14「計画の妥当性」に記載の「国が目標を定め・・・」の部分に関して、国が最終責任を持つという意味なのか？

- ◇ 課題選定委員は、重要であるが、具体的にどのような委員を考えているのか？
- ◇ 第1回評価検討会 資料2 p.30「ターゲットタンパク研究プログラム推進体制」の部分に関して、評価委員会のメンバーに関係者（過去の関係者を含む。）が入ることの是非について文部科学省の見解を説明されたい。
- ◇ 第1回評価検討会 資料2 p.38「プロジェクト成果」の部分に関して、特許出願数が359とあるがどういう特許か？
- ◇ 第1回評価検討会 資料2 p.45「タンパク3000プロジェクトで行った技術開発」の部分に関して、ここは「技術」開発とあるので研究ではないと理解されるが、実用化になるかどうかの評価も合わせて書いてほしい。
- ◇ 技術開発における「生産、解析、制御、情報PF」という分類の基礎となっている各分野内容の正当化理由を示されたい（ことに制御が問題か）。